

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 1 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	ケアプランの作成や日々のケアの実践には、アセスメントが重要であるが、現在のアセスメント記録では不十分である。担当制にしているが、職員全員で過去も現在も含めて、本人や家族からの情報を増やして、記録に残す取り組みが必要である。	①職員全員がアセスメントの重要性を理解し、情報収集に努めて記録を充実させる。 ②記録を基に利用者がどういうふうに住みたいかを汲み取り、ケアプランに反映させ、日々の実践に活用する。	①アセスメントの内容を過去の変化しない事柄や流動していく事柄に分けてわかりやすく記録する。②職員が過去に聞いたエピソード等、必要と思われる情報を新しい職員にも分かるように記録に残すなど、職員全員で取り組んでいく。	12ヶ月
2	26	現在のケース記録の内容では、ケアプランの実践状況がわかりにくい。	スタッフ全員がケアプランの実践状況がわかりやすく記録出来るようになる。ケアプランの実践状況をわかりやすく記録することによって、モニタリングやケアプランの作成に役立つ。	①ケース記録にケア内容を見やすいようにファイルして、その項目に番号を付けて、番号に沿って記録していく。 ②記録の仕方などの勉強会を実施していく。	12ヶ月
3	54	リビングやダイニング等の共同スペースは毎日掃除しているが、各居室の掃除に関しては徹底できていない。衛生上の観点から感染症対策としても必要なことであり、時間があまり取れない中で、掃除の仕方など工夫する必要がある。	利用者や家族にとって、清潔で居心地の良い居室になるように、環境整備を行ない提供する。	①職員全員が環境整備の大切さを再認識する。②ハンディモップなど、時間をかけず簡単にほこりが取れるような備品を検討し購入する。③掃除担当者だけではなく、職員全員が環境整備について気掛け実行する。④定期的に点検していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。